

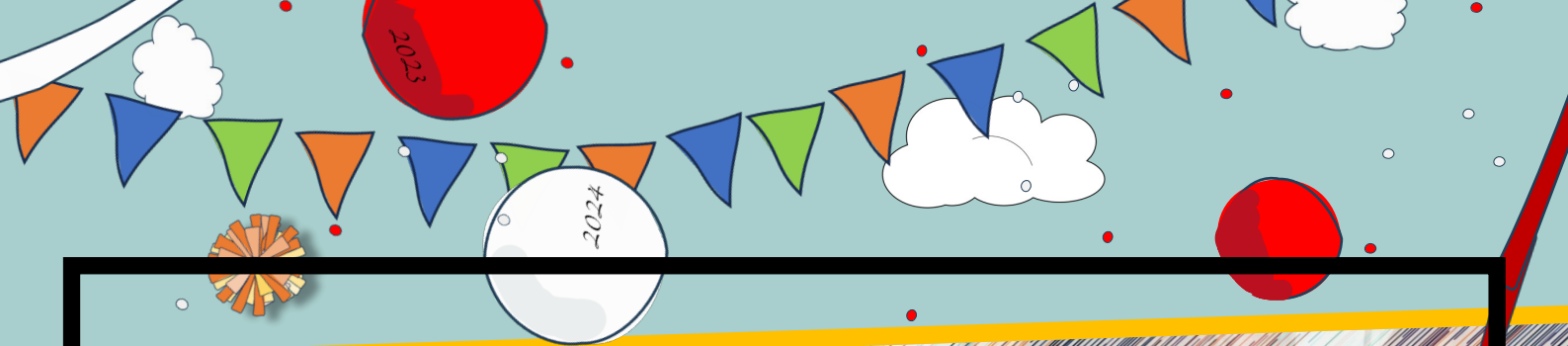
SEATTLE HOSHUKO UNDŌKAI COMMITTEE

運動会 委員会

躍動の力、
未来への橋を
築く

シアトル日本語補習学校

PTAだより 令和6年新春1月号



うんどうかい

いいんかい

みなさん、こんにちは。広報アランTです。

昨年6月に4年ぶりに開催された運動会。学校行事の運動会ですが、その裏ではPTA委員さんたちの目まぐるしい活躍があったことはご存知ですか？今回は運動会を裏で支える運動会委員さんたちの活動に焦点を当ててみたいと思います。

それでは、行ってみましょう。まずはメンバー紹介です。

UNDOKAI COMMITTEE AGENTS



**SPECIAL AGENT
NODA**



**SPECIAL AGENT
TAKASHIMA**



**SPECIAL AGENT
IIDA**



**SPECIAL AGENT
UENO**



**SPECIAL AGENT
SAITO**

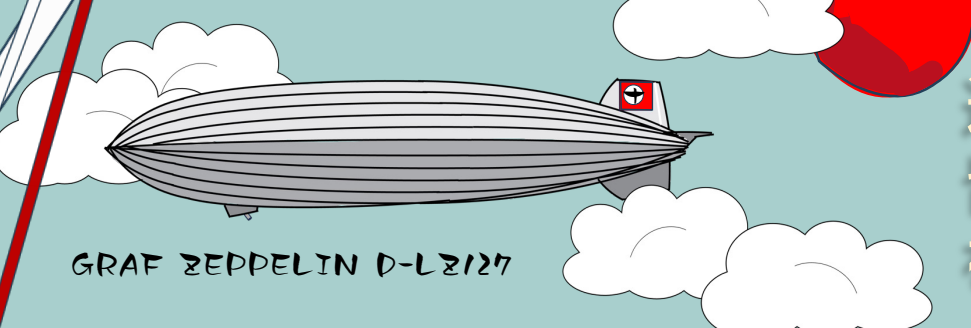


**SPECIAL AGENT
In Charge
WILSON**



**SPECIAL AGENT
KUSANO**

皆さん素晴らしい笑顔ですね。
そう、実はこれがこのチームの「力」なのです。
次にその笑顔の秘密に迫っていきましょう。



GRAF ZEPPELIN D-LZ127

運動会委員会の 皆さんと座談会 を行いました！

ではでは 😊 笑顔だらけの座談会 いてみましょう～

記者：運動会委員会のお仕事とはざっくりどんなものか教えてください。

委員：運動会委員の役割は、PTA競技の企画および児童参加賞の準備を担当し、学校が主催する運動会の補助的な役割を果たすことです。委員の主な業務は、PTA競技の選定、参加賞の手配、新しい競技のルール設定、および学校との調整です。

記者：運動会全体の企画を行っているのかと思っていました。

委員：私も最初は運動会全体の準備をPTAの運動会委員が行うものと考えていました。そのため、かなりの仕事量があるのかもしれないと思っていましたが、実際に始めてみると、PTA委員会の運動委員会が担当するのは、PTA競技と児童参加賞と知りました。残りの準備は全て学校側が行ってくれます。

記者：運動会の役割分担とそれぞれの業務内容を教えてくださいませんか？

委員：役職は委員長、副委員長、会計、児童の参加賞係、そしてPTAの主催する競技担当に分かれています。4月に初めて顔を合わせた日に役割を決め、その後は各自で動きます。児童参加賞係は物選びから、会計係は予算のレビューから始めます。競技係は通常であれば前年度の資料をもとに今年の計画を立てます。

記者：PTAの競技とは何ですか？

委員：PTAが企画して保護者が行う競技です。今年度のPTA競技ではバランスボール送りと綱引きを行いました。今回新しく採用した競技であるバランスボールについては、過去の実績がないのでルールを含め一から作り上げる必要があったので大変でした。

記者：なぜ新しい競技を採用したのですか？

委員：以前は「パン食い競争」が競技として行われていたのだそうです。この競技が結構名物で、多くの人々が楽しみにしていたようです。しかし、COVIDの影響で、食べ物の提供に関して慎重にならざるを得なくなり、他の競技を探す方針が出されました。複数の候補が提案された結果、バランスボール送りが採用されることになりました。

記者：名物競技を超えるものを作るとなるとプレッシャーもありますね。

記者：やはり運動会までが特に忙しい期間なののでしょうか？

委員：はい、そうですね。年間業務の85%がその時期に集中します。

記者：徹底的に短期決戦ですね。どんな作業内容なのですか？

委員：引き継ぎがあってその日から、まるで爆弾を投げ込まれたように、何もわからない状況から始めました。一方日付は迫っているので、ゆっくり考えている時間はなく、引き継ぎ当日に初めて会った仲間と一緒に話し合いながら進めました。

委員：私は学びながらすすめた感じはあります。まず前任者のアドバイザーの方と話し合い、どのような競技が行われていたのかを理解することから始めました。また学校側の担当者である成田先生とのやりとりも頻繁に行いました。新しい競技であるバランスボールの導入が決定した後も、学校の承認や時間的な調整が必要かどうかを確認するために何度も成田先生と話し合いました。

委員：適切なボールの選定や購入、および空気の入れ方など、さまざまな準備作業も短い時間の中で行わなければなりませんでしたね。

記者：うーん。できる限りの用意をして、火をつけたら一気に作る炒飯みたいですね。

委員：ゆっくり煮込んでいる時間は無いですね。(笑)

記者：それでは6月以降ってというのはどういう感じなのでしょう。

委員：アンケートとひたすら引き継ぎの書類作成です。

記者：ではほんとに始めの3か月が勝負という感じですか？

委員：そう、少しずつずっとやるよりも、一気にばってやりたい。だから自分に合っているかなって。(笑)

委員：でも、ほぼ毎日 Line してましたね。買い物行って商品見つけたら、その画像と価格をこれどう思う？みたいな感じでシェアして。そういう感じでした。

委員：思ったほどの割引がもらえなかったり、ダイソーさんと交渉していざ買おうと思ったらね、バルクで買うか、バラでいくつ買うかとかね。

記者：短期集中型の人に向いている仕事なのですね。

記者：苦勞されたことはなんですか？

委員：開催が4年ぶりじゃないですか。みんな運動会自体も見たことがなかったのです。どんな大きさなのか、どのくらいの規模なのか全然わからなくて。

記者：そうですね。今回は特にそういうことがありましたよね。

委員：チーム戦にするのか、全員でバランスボールをただ送るだけにするのかとか、色々やってみないとわからないことが多くて。自分たちの練習でやってみて初めてわかりました。

委員：でも位置の確認をしようってとき、カフェテリアでボールを完全に膨らませて、さあ、ドアを通して外に持っていきこうってやったら。。

委員：通らない。ボールが大きすぎて。(笑)

記者：ははは。その他に苦勞されたエピソードはありますか？

委員：綱引きに参加する人数を揃えるのがなかなか大変でした。まず何チーム制でやるかを最初に決める必要があるのです。3チームだとちょっと大変なんで、2チーム制にしたんですが。

記者：人数を揃えるとは？

委員：男女の割合を揃えるなどの力加減の調節です。とても苦勞して調整したんですが、蓋を開けてみたら、飛び入り参加されてる人がいらしたりして。

委員：もう、当日はもうどうでもいいやって感じでした。(笑)

委員：もう、見るからに人数が違ったって言われて。。

委員：保護者の方も、「あ、向こう入りました！」とか、皆さん熱くなってた。

委員：力を考慮して考えたのに、結果アンバランス。低学年と高学年で若さが違うとか。

記者：むむ。。若さで言えば高学年チームは弱そうかもしれませんね。(笑)



記者： やってて良かったなと 思ったことはありますか？

委員： 私はやっぱり当日終わって、あー終わったって。

記者： そこですか。

委員： それもあるんですけど、駐車場に向かって歩いていたら、多くの方から声をかけてもらって。「バランスボールすごい楽しかったよ」とか「今年初めてだけどよく考えてくれたね」みたいなことを言われて嬉しかったです。パン食い競争をやめたことに対する抵抗があって、そのプレッシャーを感じていてたので、それに勝つようなものをやらないとって思っていたので。 それを聞いた時に、ああ、終わったーって。

記者： やっぱり感謝の言葉をいただけると嬉しいですね。皆さんそうおっしゃいます。

委員： 期間は短いんですけど、これだけ人数がいるじゃないですか。みんなそれぞれの分担で動いてもらってるけど割とコミュニケーションが多い委員会なんです。逆にその3ヶ月は大変だったんですけど、今思えば、なんか、わちゃわちゃ楽しかったなっていう感じはあります。

委員： そう、わちゃわちゃ楽しかった。（笑

記者： 終わってみるとの達成感と、所属意識ですね、

委員： やっぱり人数多い分、楽しい部だなっていう風な感じです。

記者： なるほど、楽しかった。それはいいですね。皆さん他に何かありますか。

委員： みんないい人ばかりで。。

記者： それ大事ですね。いや、そうじゃない場合もありますから。

委員： 短期な分、メンツが結構重要です。意見合わない人と一緒にやるってなると難しい。短期間で決めなきゃいけないプレッシャーと自分たちがぶつかったら苦勞すると思う。

委員： いきなり始まるしね。

委員： そうそう。

委員： お互いのこともよくわからないままやらないといけないから。

記者：ちなみに皆さん立候補されたんですか。それとも選出されたんですか？

委員：立候補。立候補。

記者：立候補の人、手をあげてください。え？全員？人気の委員会なんですね。

委員：短期で終わらせたいって（笑

記者：（記者Bに）ちょっとカメラ用意してください。はい。立候補した方、手をあげてください。立候補した方～ はい全員ですね。



委員：はい。

記者B：笑顔が撮れました！



記者：では最後に、来年度の運動会になられる方々にメッセージなどあれば

委員：楽しいってことかな。

委員：おすすめ、おすすめ。おすすめの委員会です。

委員：もう1回PTAをやる機会があったら、私はもう一度運動会。

委員：私も。私も。

記者：ありがとうございました。



3分間の

アツい戦いが生み出す

お父さんたちの

よくわからない絆

まいっか。

黄組

青組

さて、今回も潜入ルポは大成功だったのかはわかりませんが、記者も取材をすっかり忘れて委員さんの笑い声に聞き入っていました。

仕事は短期集中の運動会委員会。最初の3ヶ月にほぼすべてが集約されているそうです。しかし、その体験談を語る委員さんたちからは笑顔が絶えませんでした。

そのときは本当に大変だったけれど、仲間と協力しながら進めた多忙な日々は「わちゃわちゃ楽しかった」 - 飯田副委員長はインタビューで述べていました。

その非の打ち所のない楽しさの表現に記者は数秒間打ちのめされていました。クリスタルのように純粋な楽しさが企画した競技にそのまま反映し、楽しさを倍増させ、多くの保護者やお父さんお母さんを応援する子どもたちにも伝染していったのではないのでしょうか。

あらためて楽しいと感じることの尊さを認識させられますね。

あ、もうこんな時間ですね。そろそろ次の取材に行かないと！

ではみなさん、次号でお会いしましょう。

- アラン T

ウィルソン委員長

飯田副委員長



取材:
Juliette Tamura
Catherine Mikami

イラスト:
Alan Takatsu

WANINABE FREE

令和6年
2024



編集後記

10ヶ月前の失敗談を笑顔で語る委員さんたちは本当に楽しそうでした。しかしその一方、仕事は待ったなしの短期決戦。4月の引き継ぎ日に直ちに始まる業務。メンバーの名前を覚え切るよりも先に待っている意思決定事項の数々。不確実な要素が多く存在する環境を嘆く暇もなく、準備期間は縮まっていきます。今となつては思い返すと大変だったと笑えるのも、その短い期間にチームが一丸となって目標を達成できたからでしょう。

この仕事に向いているタイプはと聞くと、大雑把な方という答えが笑いとともに返ってきました。与えられた条件の下で最良の選択を行える柔軟な発想が求められるということなのでしょう。運動会が終わった後も、アンケートに応じて保護者から寄せられる意見を学校と共有するなど、業務は少なからずあるのだそうです。

運動会委員さんたちは今年度は全員が立候補だそうです。短期集中の思い切りの良さが魅力なのだそうです。24年度も数少ない座席をめぐり、熾烈な競争が繰り広げられるかもしれませんね。

運動会委員の皆さんは他の委員にさきかぎで活躍してくださいました。楽しい競技の提供のみならず、多くの保護者と子どもたちに笑顔を送って下さいました。委員の皆さんにあらためて感謝を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

令和6年 初春
広報部 編集室



追記：

今号は新春1月号として1月中旬に配信を予定していましたが、事情により2月の配信となったものです。令和6年1月に起きた能登半島地震により被災された方々、関係者の皆さまにあらためてお見舞い申し上げますとともに、一日も早い被災地域の復興復旧を祈っております。

シアトル日本語補習学校 PTA



石川県珠洲市見附海岸